

第V章 明野村の板碑

今回普門寺遺跡の調査と合わせて小袖地区に在った五輪塔および板碑群について報告する機会を得た。北巨摩地方、特に明野村は石造物の宝庫として古くから知られている。それらについては既に村内の研究者によって報告されている⁽¹⁾。明野村における石造物についてはそれらを参照されたい。

ここでは明野村にみられる板碑について現在までに報告されたものと今回の踏査によって明らかにされたものについてここに記載し、資料報告としたい。

1. 小笠原厚芝おかま地蔵の板碑（村指定文化財）

地蔵などの石造物が普段は地下の石室に納められていることからおかま地蔵と呼ばれている石造物群中に板碑が2基みられる。

1基は頭部を山形にしてその下に2条の帯条線をもっている。総高80cm、幅28cm、厚さ14cmを測る。また、柄部は長さ8cm、幅11cmを測る。条線下に直径9cmの日月を表わした正円を3cm程凸彫りし、並列している。石質は安山岩である。

もう1基は同様に頭部を山形にしてその下に2条線を線刻している。総高69cm、上部幅28cm、下部幅27cm、厚さ13cmを測る。また柄部は長さ6cm、幅8cm、厚さ10cmを測る。2条線の下に直径9cmの日月を表わす正円を並列している。また碑面中央を5cm程船形に彫りくぼめ、その中に合掌型の地蔵立像を半肉彫りしている。船形は縦36cm、横18cm、地蔵高27cmを測る。いずれも紀年銘、銘文は認められない。

その他の石造物として、共に頭を欠損する地蔵2基、五輪塔空風輪11基、火輪1基、地輪1基、宝篋印塔相輪2基がみられた。

小笠原本村福性院の板碑

福性院は貞観年間慈覚の開山と伝えられる新義真言宗の寺院である。後の文正元年に小笠原政康が中興したらしいが、安永年間の火災によって旧記を失い詳細については明らかでない。境内には子安地蔵をはじめとして数多くの石造物がみられるが、その中に2基の板碑がみられる。

1基は頭部を山形にし、その下に2条線を配している。総高74cm、幅40cm、厚さ上部15.5cm、下部19cmを測る。下部には幅3cm、厚さ1cmの凸帯を持つ。この板碑は裏面にも同様な彫刻が施されており、両面板碑とでも言うべき形をとっている。1石2基の双式板碑、連碑と呼ばれているものは武蔵系板碑などにはみられるが、両面板碑の形式をとっているものは非常に珍しいと言えるであろう。両面共に銘文が彫られていたようであるが、近くにある長清寺との勢力争いの際に削り取られてしまったらしい。そのため、紀年銘、銘文共に不明である。

もう1基も頭部を山形にし、頂部より31cmのところの2条線を持つ。総高97cm、上部幅20cm、中央部幅23cm、下部幅25cm、厚さ上部15cm、下部17cmを測る。碑面中央部に深さ5cm程を方形に

彫りくぼめ、その内に合掌型の地藏立像を半肉彫りにしている。紀年銘、銘文は認められない。

3. 下神取の板碑

下神取地区水田の石垣に小さな祠があり、その内に2基の板碑と水輪を欠く五輪塔1基が確認された。2基の板碑ともに祠の内に整然と立てられていた。

1基は頭部を山形にし、その下に3条の線によって形成された2条の帯条線を持つ。総高56cm、上面幅22cm、下部幅24cm、厚さ上部9.5cm、下部12cmを測る。柄部は長さ6cm、幅6cmを測る。頭部の山形内に直径4cmの正円を並列している。2条線下に直径6cmと6.5cmの正円を斜位に配している。また、碑面下部に1条の条線を刻んでいる。

もう1基は板碑下半が地中に埋もれているために正確な総高等については不明であるが総高60cm以上、厚さ11cmを測る。頭部を山形にし、その下に3条の帯条線を持つ。碑面には直径6cmの日月を表わす正円を持っている。紀年銘、銘文共に認められない。

いつ頃からこの祠が作られたかについては不明である。

4. 北組の板碑

上手北組の公会堂前の道路脇に立てられている。板碑は3基あり、1基の板碑に2体ずつの地藏を陽刻し3基で六地藏とする特殊な形態をとる。1基の板碑に六体の地藏を配した多仏圖像板碑は武蔵地方に例がみえるようであるが、本板碑の形態をとるものは非常に珍しいと言える。本板碑については既に報告があるのでそれを参考にしたい⁽²⁾。

3基共に頭部を山形にし、2条線を刻んでいる。総高103cm、上部幅31.5cm、下部幅31.7cm、厚さ上部18cm、下部19cmを測る。碑面中央部を方形に彫りくぼめ、2体の地藏立像を半肉彫りにしている。その下に正方形の枠を並置している。地藏立像は風化が激しいために印相が確認できるものは2基目、3基目の左像の両手に宝珠、3基目右像の合掌印のみである。いずれも紀年銘、銘文共に認められない。石質は3基共に安山岩である。

註(1) 船窪 久『明野の石佛』1977

『甲州の庚申塔』1975

篠原紫勲「明野の石造物」 広報あけの 1981～

(2) 佐野勝広「甲斐の板碑(その2)」『丘陵』第6号 1979